



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月24日

上場会社名 大丸エナウイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9818

URL <http://www.gas-daimaru.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古野 晃

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統轄

(氏名) 青木 尚史

TEL 06-6685-5106

四半期報告書提出予定日 2019年11月15日

配当支払開始予定日 2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,190	4.1	339	22.5	382	23.0	235	17.0
2019年3月期第2四半期	7,866	10.8	277	9.2	310	11.5	201	368.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 345百万円(60.0%) 2019年3月期第2四半期 215百万円(214.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	30.96	—
2019年3月期第2四半期	26.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,395	11,544	66.4
2019年3月期	15,218	11,263	74.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,544百万円 2019年3月期 11,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	17,500	1.5	900	8.7	950	5.1	600	0.4	78.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,046,500株	2019年3月期	8,046,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	426,289株	2019年3月期	426,235株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,620,244株	2019年3月期2Q	7,620,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外の政治、経済情勢の不確実性等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。特に中東情勢においては、イランに対する経済制裁による原油禁輸措置や米中貿易摩擦等が大きな不安定要素となり、原油価格についても不安定な動きが見られます。

このような環境のもとで、当社グループの売上高は、LPガスの出荷量が前年同四半期と比べ増加し、また、アクア事業、医療・産業ガス事業における販売増加により、8,190百万円と前年同四半期と比べ323百万円(4.1%)の増収となりました。

損益面では、売上増加に伴い売上総利益は、3,383百万円と前年同四半期と比べ226百万円(7.2%)の増益となりました。営業力強化のための人件費増加や備品等の販売費増加により、販管費は前年同四半期と比べ増加したものの、営業利益は、339百万円と前年同四半期と比べ62百万円(22.5%)の増益となりました。

営業外収益及び営業外費用を加減算した経常利益は、382百万円と前年同四半期と比べ71百万円(23.0%)の増益となりました。法人税、住民税及び事業税等控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益は、235百万円と前年同四半期と比べ34百万円(17.0%)の増益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① リビング事業

当セグメントにおきましては、LPガスの仕入価格に連動した販売単価が低下したものの、LPガスの出荷量が前年同四半期と比べ増加し、また住宅設備部門の販売が増加したことにより、売上高は、5,469百万円と前年同四半期と比べ40百万円(0.8%)の増収となりました。

② アクア事業

当セグメントにおきましては、前年下期より開始した新ブランド「スーパーバナジウム富士」の販売によりユーザー件数、販売本数ともに増加し、売上高は、653百万円と前年同四半期と比べ154百万円(30.8%)の増収となりました。

③ 医療・産業ガス事業

当セグメントにおきましては、酸素濃縮器等の在宅医療機器のレンタル、医療ガス、産業ガス及び機材・工事と各分野において販売が増加し、売上高は、2,066百万円と前年同四半期と比べ128百万円(6.6%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は17,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,176百万円の増加となりました。この主な要因は、のれんの増加1,358百万円、顧客関連資産の計上311百万円及び土地の増加270百万円であり、主に、サンキホールディングス株式会社及び株式会社キンキ酸器の企業結合を行ったことによる増加であります。

負債合計は5,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,895百万円の増加となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加537百万円及び長期借入金の増加1,018百万円であり、主に、サンキホールディングス株式会社及び株式会社キンキ酸器の企業結合を行ったことによる増加であります。

純資産合計は11,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加171百万円及びその他有価証券評価差額金の増加109百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値は2019年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,312,009	4,380,825
受取手形及び売掛金	2,653,279	2,435,632
商品及び製品	392,216	347,097
その他	424,914	410,452
貸倒引当金	△ 14,653	△ 14,529
流動資産合計	7,767,767	7,559,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,845,747	1,893,038
機械装置及び運搬具(純額)	595,528	626,377
土地	2,204,614	2,474,853
リース資産(純額)	271,495	264,821
その他(純額)	656,678	686,448
有形固定資産合計	5,574,064	5,945,538
無形固定資産		
のれん	683,838	2,041,957
顧客関連資産	—	311,000
その他	46,128	55,565
無形固定資産合計	729,966	2,408,523
投資その他の資産		
投資有価証券	933,092	1,097,351
関係会社株式	9,400	9,400
繰延税金資産	3,859	9,200
その他	205,140	426,702
貸倒引当金	△ 5,114	△ 61,177
投資その他の資産合計	1,146,377	1,481,476
固定資産合計	7,450,408	9,835,538
資産合計	15,218,175	17,395,016

(単位 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,775	2,442,261
1年内返済予定の長期借入金	—	537,419
リース債務	100,439	103,200
未払法人税等	233,167	185,091
役員賞与引当金	21,640	12,600
その他	646,690	642,231
流動負債合計	3,390,711	3,922,804
固定負債		
長期借入金	—	1,018,125
長期未払金	95,059	191,634
リース債務	192,775	182,805
繰延税金負債	53,897	189,242
役員退職慰労引当金	151,950	280,068
その他	69,901	65,543
固定負債合計	563,585	1,927,419
負債合計	3,954,297	5,850,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	870,500	870,500
資本剰余金	1,185,972	1,185,972
利益剰余金	9,304,582	9,475,708
自己株式	△ 305,005	△ 305,074
株主資本合計	11,056,049	11,227,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,829	317,686
その他の包括利益累計額合計	207,829	317,686
純資産合計	11,263,878	11,544,792
負債純資産合計	15,218,175	17,395,016

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,866,896	8,190,234
売上原価	4,709,234	4,806,383
売上総利益	3,157,662	3,383,850
販売費及び一般管理費	2,880,279	3,044,124
営業利益	277,383	339,726
営業外収益		
受取利息	68	68
受取配当金	7,813	14,301
受取賃貸料	8,983	4,947
その他	19,612	25,326
営業外収益合計	36,477	44,644
営業外費用		
支払利息	309	1,029
売上割引	537	676
不動産賃貸費用	522	506
その他	1,864	61
営業外費用合計	3,232	2,274
経常利益	310,628	382,096
特別利益		
固定資産売却益	32,764	4,805
特別利益合計	32,764	4,805
特別損失		
固定資産除売却損	1,116	528
特別損失合計	1,116	528
税金等調整前四半期純利益	342,276	386,372
法人税、住民税及び事業税	88,486	164,074
法人税等調整額	52,081	△ 13,600
法人税等合計	140,567	150,474
四半期純利益	201,708	235,898
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,708	235,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,131	109,509
その他の包括利益合計	14,131	109,509
四半期包括利益	215,840	345,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,840	345,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 : サンキホールディングス株式会社
 事業の内容 : 子会社の管理
 被取得企業の子会社の名称 : 株式会社キンキ酸器
 事業の内容 : 医療用ガスの販売、医療機器のレンタル

② 企業結合を行った主な理由

サンキホールディングスグループは、「人と人とのつながりを担う」を企業理念とし、近畿地区を中心に医療用ガスの販売や、在宅医療で使用される医療機器のレンタルを行っております。医療にかかわる商品を扱っていることから、安全・安心な供給を常に目指しており、当社の経営理念である「保安の確保」「安定供給」にも合致しております。

今回の株式取得により、両社の経営資源を融合し、販売面だけでなく保安面・供給面等あらゆる面においてシナジー効果を発現し、当社グループの医療・産業ガス事業における経営基盤の強化を図りたいと考えております。

③ 企業結合日

2019年7月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	700,000 千円
取得原価		700,000 千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

財務調査に係る費用等 9,400 千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

1,378,041千円

② 発生原因

主として株式会社キンキ酸器が医療用ガスの販売や在宅医療で使用される医療機器のレンタルを行うことにより期待される超過収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	695,459 千円
固定資産	461,024 "
資産合計	1,156,484 "
流動負債	1,134,730 "
固定負債	915,629 "
負債合計	2,050,359 "

(7) 取得原価のうちのれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の内訳並びに全体及び種類別の加重平均償却期間

顧客関連資産 311,000 千円 10年